

【自主】自ら進んで学ぶ生徒【寛容】明朗で思いやりのある生徒【挑戦】健康でたくましい生徒
～夢の実現～〈重点目標〉互いに励まし合い、目標に向かってチャレンジする生徒

原町三中だより



平成28年12月16日(金)第15号

発行責任者: 校長 熊澤 正人

TEL 22-3802

教育とは独り立ちさせること 授業とは引き出し伸ばすこと。

スーパーティーチャー招へい事業公開授業より

相澤秀夫宮城教育大学名誉教授 の示範授業を実施

去る11月28日(月)に相澤秀夫宮城教育大学名誉教授をお招きし、本校2年生に対する道徳の示範授業見せていただきました。

これは南相馬市のスーパーティーチャー招へい事業を利用したもので、大甕小学校、太田小学校の先生方も参加して、授業参観のあと相澤先生の講演、授業研究会を行い授業力向上に努めました。

相澤先生について

国公立中学校教諭、指導主事、文部省教科調査官、海外子女教育専門官等を経て宮城教育大学、同大学教職大学院教授を務め、現在名誉教授となり、全国各地の小・中学校で国語や道徳の示範授業を行い教員の授業力向上のために尽力されています。

示範授業の実際

緊張して授業を待っていた2年生でしたが、相澤先生から一人一人に「返事が力強いね」「はきはきしてうれしくなるね」などと励ましの声をかけられ、授業に集中していく雰囲気がつくられました。

授業は、家族の関係について考えさせるものでした。「主人公は何を伝えたかったのか?」という質問に生徒は一人で考えたあとペアで話し合い、友達の発言から気づいたことをノートに書き留め、さらに自分の考えを深く広くしていきました。ペアで話すときには「よろしく」「ありがとう、またね」など相手を大事にする言葉かけもさせます。

「書けば書くほど生徒の考える力は身につ

き、考え深くなっていく。」という相澤先生の指導で、多い生徒は3ページ以上も自分や友達の考えをノートに書き込みました。

授業研究会で学んだこと

授業の後に相澤先生の講演と授業研究会が行われ、我々教員も多くのことを学びました。

◆教育とは、子どもを独り立ちさせること。

◆授業とは子どもの力を引き出し伸ばすこと。

◆よい授業とは

・子ども達が集中を切らさないこと。

・子ども達が活躍していること。

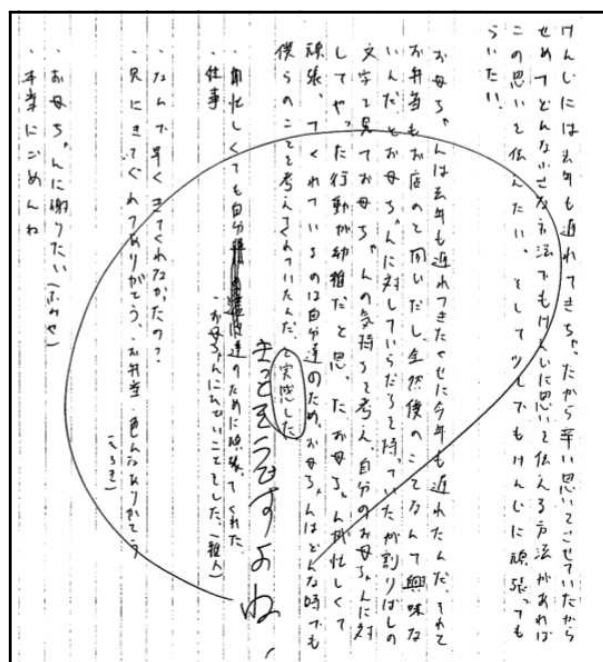
・子ども達に居場所があること。

◆書かせることは授業の命

◆自信のない子に自信をもたせる。

◆認め励ます言葉をポケットに多く持つ。

他にもたくさん学ぶことがありましたので普段の授業に生かしていきます。



【自分や友達の考えが書き込まれたノート】